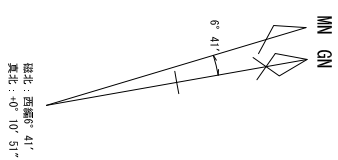


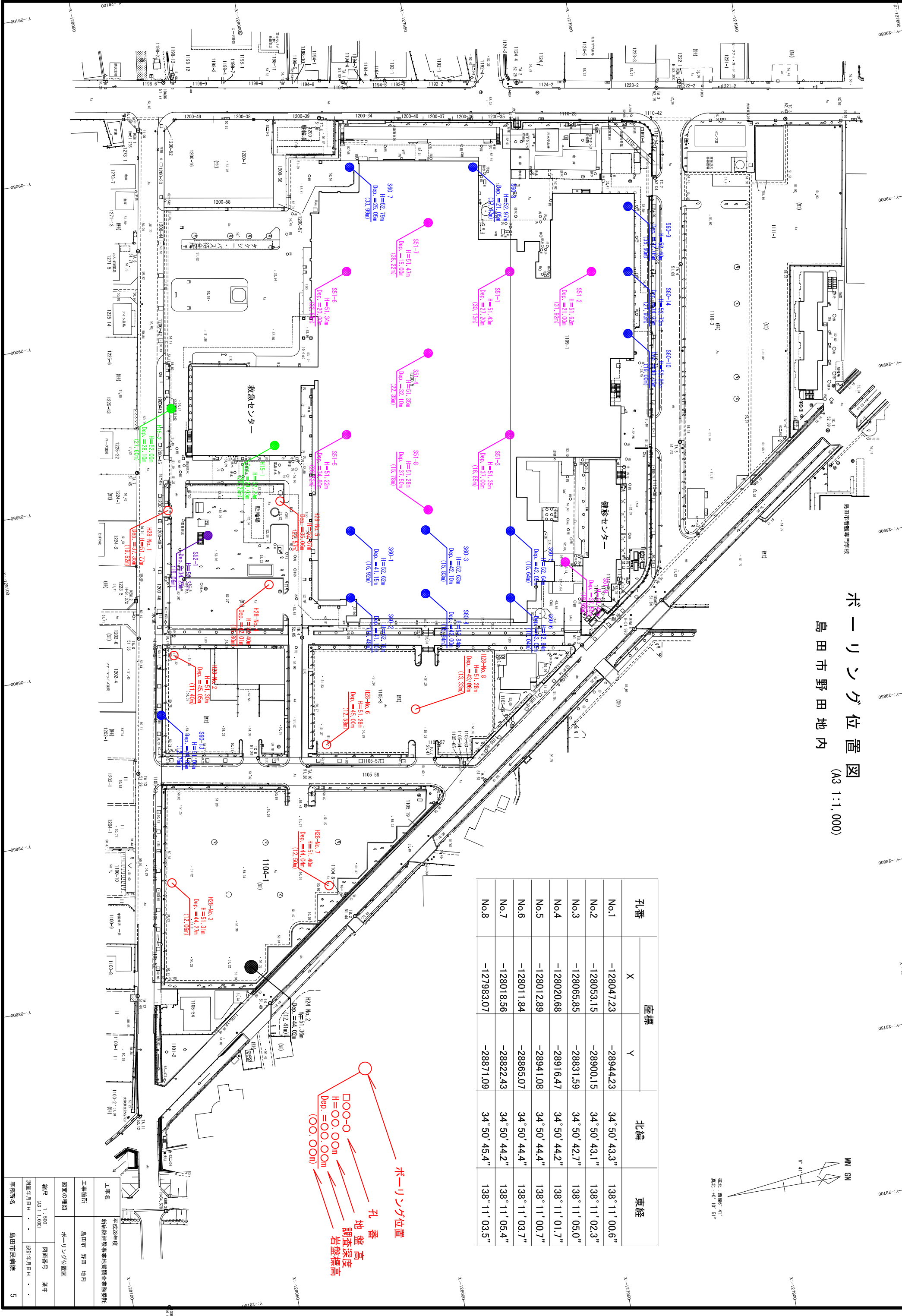
ボーリング位置図 (A3 1:1,000)

島田市野田地内



孔番	座標		北緯	東経
	X	Y		
No.1	-128047.23	-28944.23	34° 50' 43.3"	138° 11' 00.6"
No.2	-128053.15	-28900.15	34° 50' 43.1"	138° 11' 02.3"
No.3	-128065.85	-28831.59	34° 50' 42.7"	138° 11' 05.0"
No.4	-128020.68	-28916.47	34° 50' 44.2"	138° 11' 01.7"
No.5	-128012.89	-28941.08	34° 50' 44.4"	138° 11' 00.7"
No.6	-128011.84	-28865.07	34° 50' 44.4"	138° 11' 03.7"
No.7	-128018.56	-28822.43	34° 50' 44.2"	138° 11' 05.4"
No.8	-127983.07	-28871.09	34° 50' 45.4"	138° 11' 03.5"

ボーリング位置
 孔番
 地盤高度
 調査深度
 岩盤標高



工事箇所	島田市 野田 地内
図面の種類	ボーリング位置図
縮尺	1:500
測量年月日	設計年月日
事務所名	島田市民病院
	5

ボーリング柱状図

調査名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

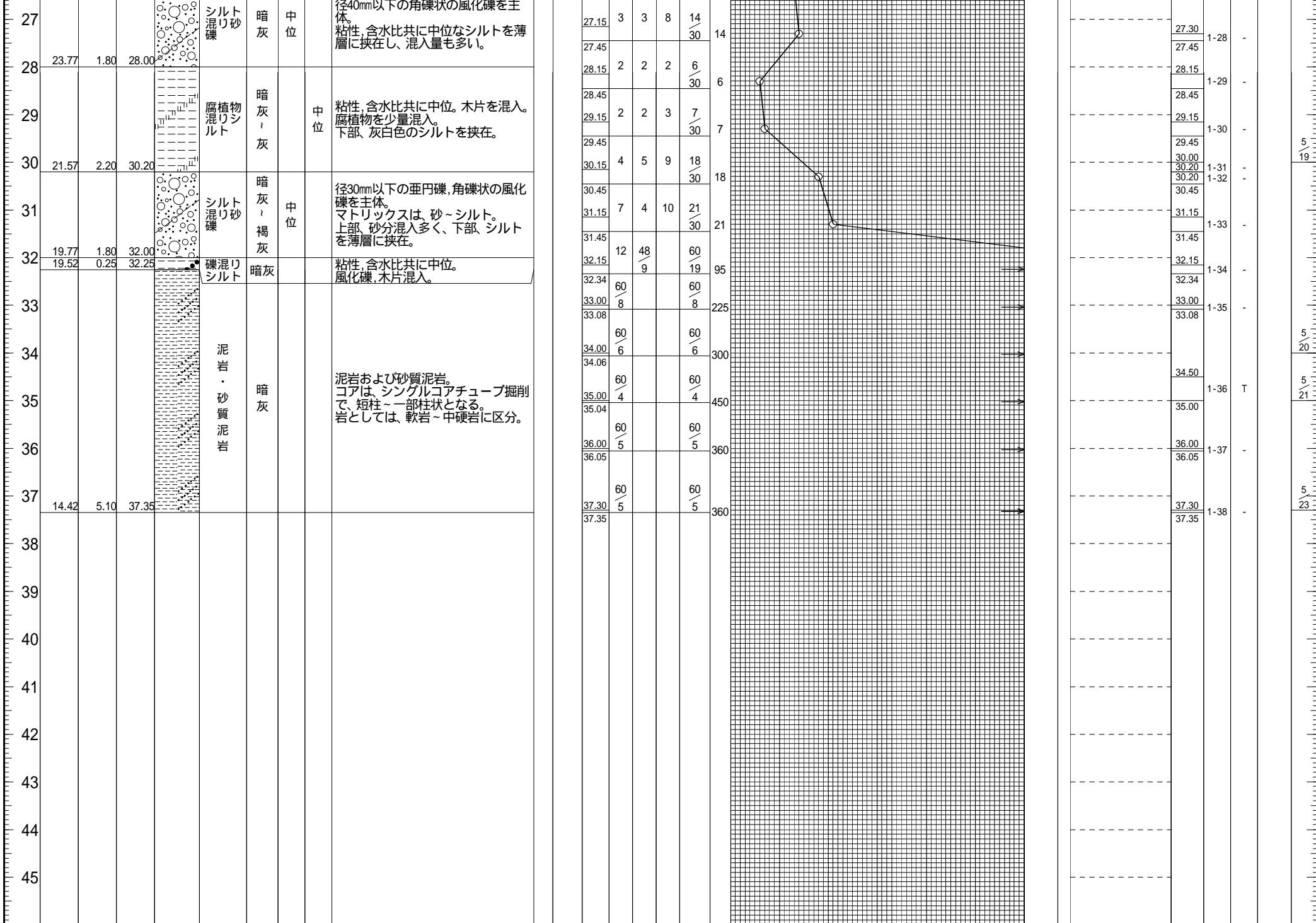
ボーリングNo 5 2 3 8 2 1 1 4 0 0 1

事業・工事名

シートNo 001

ボーリング名	B-No.1		調査位置	島田市 野田 地内			北緯	34° 50' 43.3"						
発注機関	市立島田市民病院			調査期間	平成 28年 5月 16日 ~ 28年 5月 24日			東経	138° 11' 0.6"					
調査業者名	日本エルダルト株式会社 電話 (054-254-4572)		主任技師	山西正朗		現代場人	深井隆信		コ鑑ア者	深井隆信		ボーリング責任者	鍋木智志	
孔口標高	51.77m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 KR-100P		ハンマー落下用具	半自動落下装置		
総掘進長	37.35m	度	0°	向	0°	エンジン	NFAD 10		ポンプ	V-6				

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)			
												深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深	試験名および結果				深	採取方法	
1	50.67	1.10	1.10		盛土	暗灰・暗褐				地表5cmアスファルト舗装。下部 砕石、シルト混り砂礫。推測長径100mm前後の玉石混入。	5/17 0.90	1.15	1	2	1	4	30	4	1.15	1-1	-	
2	49.97	0.70	1.80		シルト	暗灰	軟らかい			粘性・含水比共に中位。細砂、腐植物を極少量混入。	5/21 2.20	1.45	4	3	2	9	30	9	1.45	1-2	-	
3	48.77	0.80	3.00		砂	暗灰	緩い			細砂。径5~20mmの亜円~亜角礫を極少量混入。		2.15	4	3	2	9	30	9	2.00	1-3	-	
4	48.42	0.35	3.35		礫混りシルト	暗灰	中位			粘性中位~やや高位、含水比中位。径20mm以下の亜円~亜角礫を混入。		2.45	2	2	5	9	30	9	2.20	1-4	-	
5	47.52	0.90	4.25		砂混りシルト	暗灰	中位			細砂。径10mm以下の亜円~亜角礫を混入。下部、腐植物、シルトを混入。		3.15	2	2	5	9	30	9	2.45	1-5	-	
6					砂混りシルト	暗灰	軟らかい	中位		粘性中位~やや低位、含水比中位。微細砂、細砂を薄層に挟在。腐植物少量混入。		3.45	5	3	3	11	30	11	3.45	1-6	-	
7	44.77	2.75	7.00		粘土質シルト	暗灰	硬い			粘性中位~やや高位、含水比中位。腐植物、砂を少量混入。		4.15	4	3	3	11	30	11	4.25	1-7	-	
8	44.27	0.50	7.50		腐植物混りシルト	暗灰・黒褐	非常に軟らかい	中位		粘性中位~やや高位、含水比中位。全体に腐植物、炭化有機物を多く混入。深度14m以深、部分的に微細砂~細砂を混入。		4.45	4	3	4	11	30	11	4.45	1-8	-	
9												5.15	1	2	1	4	30	4	4.25	1-9	-	
10												5.45	2	2	3	7	30	7	4.45	1-10	-	
11												6.15	2	2	3	7	30	7	5.15	1-11	-	
12												6.45	4	3	4	11	30	11	5.45	1-12	-	5/17
13												6.45	4	3	4	11	30	11	6.15	1-13	-	
14												7.15	1	1	2	4	30	4	6.45	1-14	-	
15												7.45	1	2	2	5	30	5	7.15	1-15	-	
16												8.15	1	2	2	5	30	5	7.45	1-16	-	
17												8.45	1	2	2	5	30	5	8.15	1-17	-	
18	33.97	10.30	17.80		シルト混り砂礫	暗灰	中位			径20mm以下の亜円~亜角礫を主体に、径80mm前後の礫を混入。角礫状の風化礫を混入。マトリックスは、砂~シルト。		9.15	1	2	1	4	30	4	8.45	1-18	-	
19	32.97	1.00	18.80		礫混りシルト	暗灰	硬い			粘性、含水比共に中位。径20mm以下の亜円礫、角礫状の風化礫、砂、腐植物を混入。		9.45	3	3	3	9	30	9	9.15	1-19	-	粒度
20	32.17	0.80	19.60		シルト質砂	暗灰	中位			細砂~中砂を主体に、シルトの混入多い。径2~10mmの亜円~亜角礫、角礫状の風化礫を混入。		10.15	1	2	2	5	30	5	9.45	1-20	-	
21	31.07	1.10	20.70		礫混りシルト	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。径20mm以下の角礫状の風化礫、腐植物を混入。		10.45	1	2	2	5	30	5	10.15	1-21	-	密度 含水 粒度
22	30.07	1.00	21.70		シルト混り砂礫	暗灰	中位			径10mm以下の礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。礫は、亜円礫、角礫状の風化礫。軟質な腐植物混りシルトを薄層に挟在。		11.00	0	1	1	2	40	2	10.45	1-22	-	
23	29.17	0.90	22.60		腐植物混りシルト	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。腐植物、炭化有機物を混入。部分的に、砂を薄層に挟在。径20mmの亜円礫を少量混入。		11.40	2	2	2	6	30	6	11.00	1-23	-	5/18
24												12.15	1	2	2	5	30	5	11.40	1-24	-	
25												12.45	1	1	2	4	30	4	12.15	1-25	-	
26	25.57	3.60	26.20		シルト混り砂礫	暗灰	中位			径40mm以下の角礫状の風化礫を主体に、粘性、含水比共に中位なシルトを薄層に挟在し、混入量も多い。		13.15	1	2	2	5	30	5	12.45	1-26	-	
27												13.45	4	4	5	13	30	13	13.15	1-27	-	
												14.15	3	3	8	14	30	14	13.45	1-28	-	



ボーリング柱状図

調査名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

ボーリングNo 5 2 3 8 2 1 1 4 0 0 2

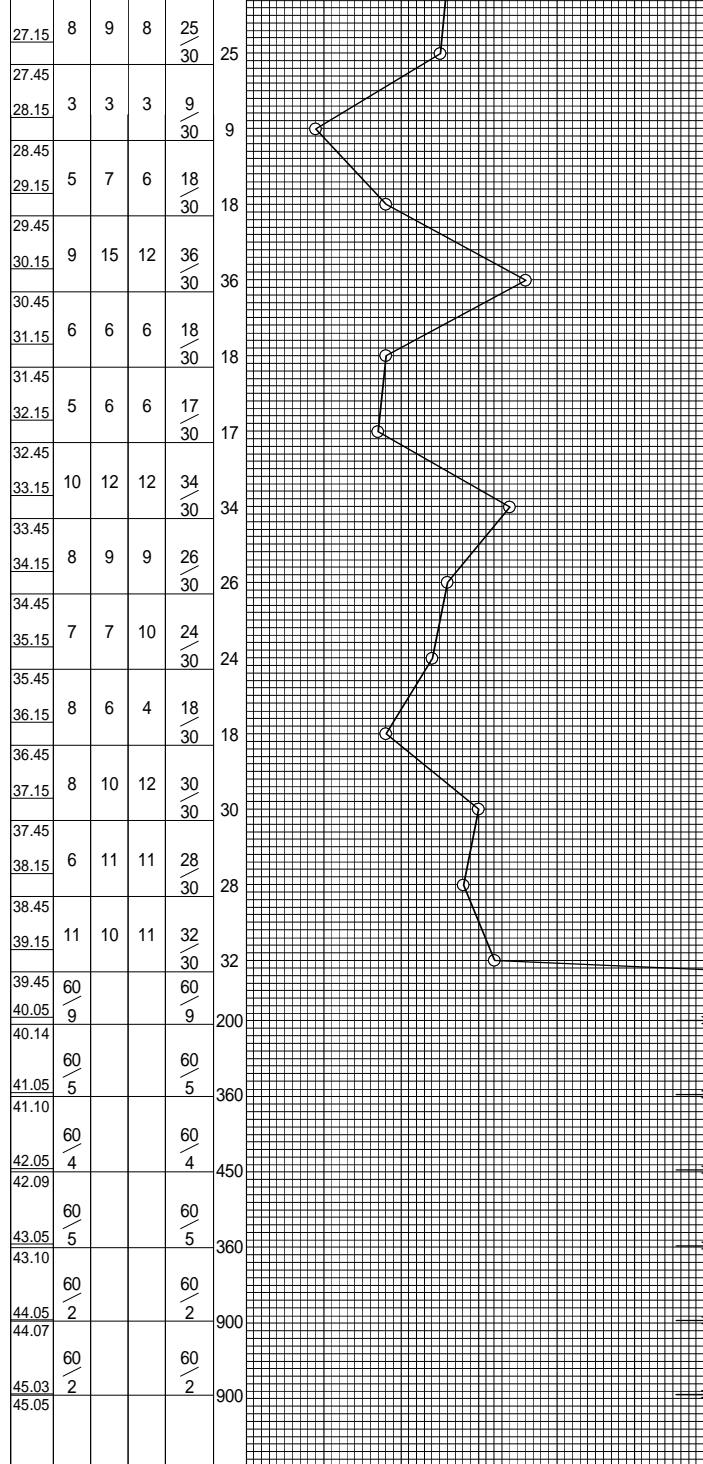
事業・工事名

シートNo 002

ボーリング名	B-No.2		調査位置	島田市 野田 地内		北緯	34° 50' 43.1"	
発注機関	市立島田市民病院				調査期間	平成 28年 5月 11日 ~ 28年 5月 16日		
調査業者名	日本エルダルト株式会社 電話 (054-254-4572)		主任技師	山西正朗	現代理人	深井隆信	コ 鑑 定 ア 者	深井隆信
ボーリング責任者	木伏 誠							
孔口標高	51.30m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 90° 東	地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°
総掘進長	45.05m	度	0°	向	180°	使用機種	試錐機 KR-100H エンジン NFAD 10	
							ハンマー落下用具 ポンプ	
							半自動落下装置 V-6	

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)		
											深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)						深 度 (m)	試 験 名 および結果
50.70	0.60	0.60	盛土	暗褐					地表6cmアスファルト舗装。下部、碎石、シルト質砂礫。推測長径150mmの玉石、コンクリートガラ混入。	5/11 0.64	1.15	5	3	2	10	9		1.00	2-1	
49.90	0.30	1.40									49.70	0.20	1.60	1.50	1		1	1	3	15
49.30	0.40	2.00	砂礫	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。径30mm以下の亜角礫、角礫状の風化礫を主体。マトリックスは、砂-シルト。			2.15	1	1	1	3	3		2.45	2-2	
48.15	0.15	2.15									2.45	4	3	4	11		30	3.15	3.15	
47.60	0.55	3.70	シルト	暗灰	軟らかい			粘性、含水比共に中位。炭化有機物を極少量混入。			3.45	1	2	1	4	4		4.15	2-3	
47.60	0.55	3.70									4.15	1	2	1	4		30	4.45	4.45	
45.40	2.20	5.90	腐植物混りシルト	暗灰	軟らかい			粘性、含水比共に中位。上部、砂質シルトを挟む。腐植物の混入多く、径2-5mmの礫を少量混入。			5.15	1	1	1	3	3		5.45	2-4	
45.40	2.20	5.90									5.45	3	3	4	10		6.15	6.15		
44.30	1.10	7.00	砂質シルト	暗灰	硬い			シルトを主体に、細砂を多く混入。			6.45	2	2	3	7	7		7.15	2-5	
44.30	1.10	7.00									7.15	2	2	3	7		7.45	7.45		
38.80	5.50	12.50	腐植物混りシルト	暗灰、黒褐	中位			粘性中位~やや低位、含水比中位。腐植物、炭化有機物を混入。上部、微細砂の混入多く砂質を帯びる。腐植物の混入少ない。深度9.0~10.6m間、特に、腐植物の混入多い。下部、細砂を薄層に挟み、腐植物の混入少ない。			8.15	1	1	2	4	4		8.45	2-6	
38.80	5.50	12.50									8.45	2	1	2	5		9.15	9.15		
37.30	1.50	14.00	シルト混り砂礫	暗灰	中位			径20mm以下の亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫混入。マトリックスは、砂-シルト。			9.45	1	1	2	4	4		10.15	2-7	
37.30	1.50	14.00									10.15	1	1	2	4		10.45	10.45		
32.65	4.65	18.65	腐植物混りシルト	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。腐植物、炭化有機物を混入。深度15m付近、炭化有機物の混入多い。			11.15	1	1	1	3	3		11.45	2-8	
32.65	4.65	18.65									11.45	2	2	2	6		12.15	12.15		
32.35	0.30	18.95	シルト質砂礫	暗灰	緩い			径30mm以下の礫を主体。微細砂~細砂。シルトの混入多く、腐植物、木片を混入。			12.45	6	8	7	21	21		13.15	2-9	
32.35	0.30	18.95									13.15	6	8	7	21		13.45	13.45		
31.95	0.40	19.35	腐植物混りシルト	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。腐植物、炭化有機物を少量混入。深度20m付近、風化泥岩礫を混入。深度22m付近、腐植物の混入多い。			14.15	1	2	3	6	6		14.45	2-10	
31.95	0.40	19.35									14.45	2	2	2	6		15.15	15.15		
28.60	3.35	22.70	シルト混り砂礫	暗灰	中位			径30mm以下の亜円~亜角礫を主体。マトリックスは、砂-シルト。礫混り細砂を薄層に挟む。			15.45	2	1	2	5	5		16.15	2-11	
28.60	3.35	22.70									16.15	2	1	2	5		16.45	16.45		
27.85	0.30	23.45	シルト	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。砂質シルト、細砂を薄層に挟む。腐植物混入。			17.15	2	1	2	5	5		17.45	2-12	
27.85	0.30	23.45									17.45	2	1	2	5		18.15	18.15		
25.60	2.25	25.70	腐植物混りシルト	暗灰	中位			径20mm以下の亜円~亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。			18.45	2	1	2	5	5		18.45	2-13	
25.60	2.25	25.70									18.45	2	1	2	5		19.15	19.15		
25.15	0.45	26.15	シルト	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。腐植物を少量混入。			19.45	2	3	2	7	7		19.95	2-14	
25.15	0.45	26.15									19.95	2	3	2	7		20.15	20.15		
23.15	0.45	23.15	シルト	暗灰	中位			径20mm以下の亜円~亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。			20.45	2	1	2	5	5		21.15	2-15	
23.15	0.45	23.15									21.15	2	1	2	5		21.45	21.45		
23.45			腐植物混りシルト	暗灰	中位			径30mm以下の亜円~亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。粘性、含水比共に中位なシルト。			22.15	2	2	2	6	6		22.45	2-16	
23.45											22.45	2	2	2	6		23.15	23.15		
22.45			腐植物混りシルト	暗灰	中位			径20mm以下の亜円~亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。			23.45	9	9	8	26	26		24.15	2-17	
22.45											24.15	9	9	8	26		24.45	24.45		
21.15			腐植物混りシルト	暗灰	中位			粘性、含水比共に中位。腐植物を少量混入。			24.45	7	7	7	21	21		25.15	2-18	
21.15											25.15	7	7	7	21		25.45	25.45		
20.45			腐植物混りシルト	暗灰	中位			径20mm以下の亜円~亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。粘性、含水比共に中位なシルト。			26.15	9	8	9	26	26		26.45	2-19	
20.45											26.45	9	8	9	26		27.15	27.15		
20.15			腐植物混りシルト	暗灰	中位			径20mm以下の亜円~亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。粘性、含水比共に中位なシルト。			26.45	8	9	8	25	25		27.15	2-20	
20.15											27.15	8	9	8	25					

27				シルト混り砂礫	暗灰	中位	径20mm以下の亜円～亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂～シルト。粘性、含水比共に中位なシルトを薄層に挟在。
28	23.30	1.85	28.00	シルト	暗灰	硬い	粘性、含水比共に中位。微細砂、風化礫、腐植物を少量混入。
29	22.40	0.90	28.90				
30				シルト混り砂礫	暗灰	中位～密な	径20mm以下の亜円～亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径80mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂～シルト。深度29.15～29.25mに礫混りシルト挟在。深度33m以深、角礫状の風化礫の混入多い。深度37.5～39.0m付近、褐灰色。深度38m以深、掘削泥水の逸水が少量ある。
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40	11.40	11.00	39.90	泥岩・砂質泥岩	暗灰		泥岩および砂質泥岩。コアは、シングルコアチューブ掘削で、角礫状から一部短柱状となる。岩としては、軟岩～中硬岩に区分。
41							
42							
43							
44							
45	6.25	5.15	45.05				



27.15	2-27	-
27.45		
28.15	2-28	-
28.45		
29.15	2-29	-
29.45		
30.15	2-30	-
30.45		
31.15	2-31	-
31.45		
32.15	2-32	-
32.45		
33.15	2-33	-
33.45		
34.15	2-34	-
34.45		
35.15	2-35	-
35.45		
36.15	2-36	-
36.45		
37.15	2-37	-
37.45		
38.15	2-38	-
38.45		
39.15	2-39	-
39.45		
40.05	2-40	-
40.14		
41.05	2-41	-
41.10		
42.05	2-42	-
42.09		
43.05	2-43	-
43.10		
44.05	2-44	-
44.07		
45.03	2-45	-
45.05		

5/13
5/14
5/16

ボーリング柱状図

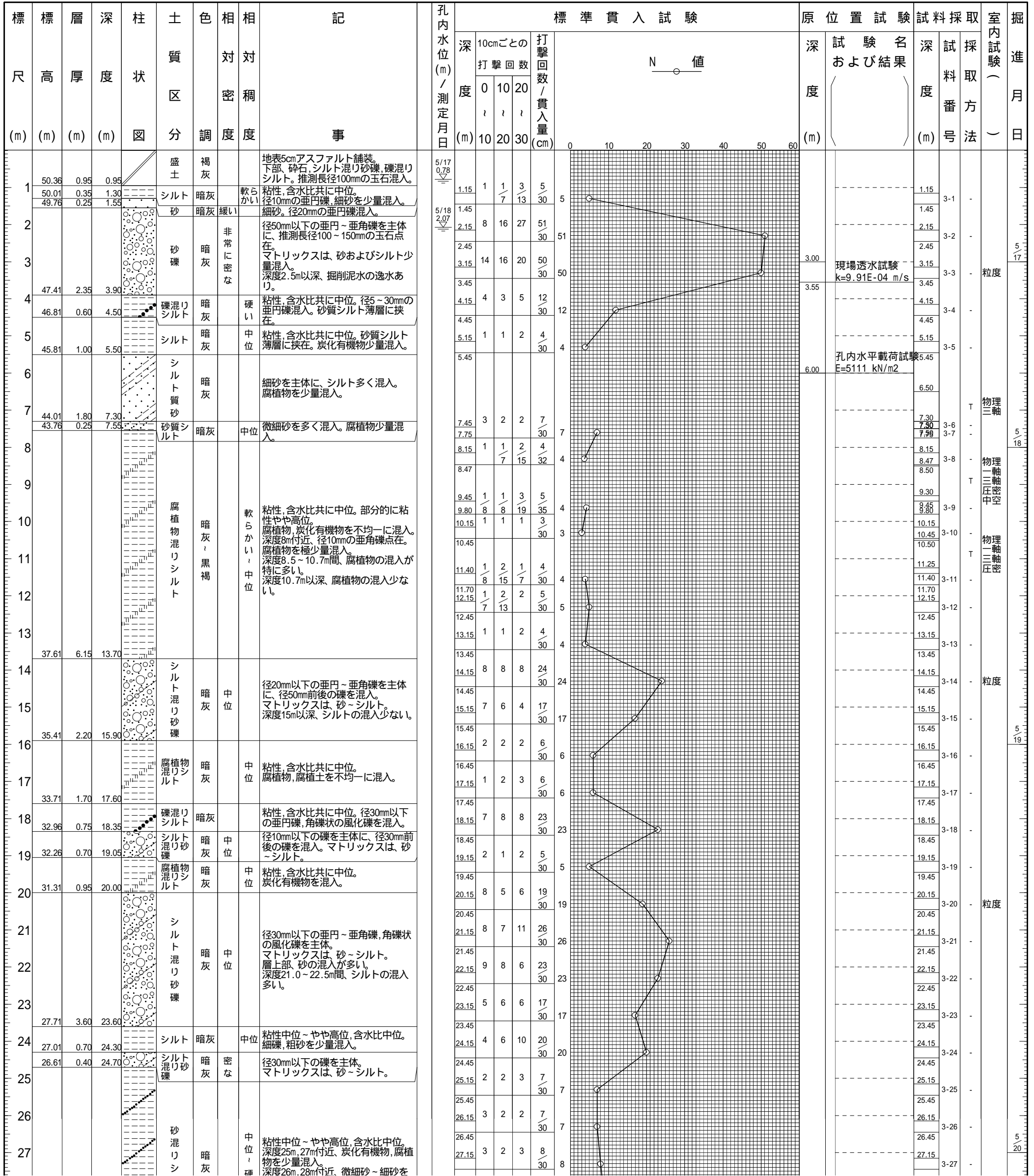
調 査 名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

ボーリングNo 5 2 3 8 2 1 1 4 0 0 3

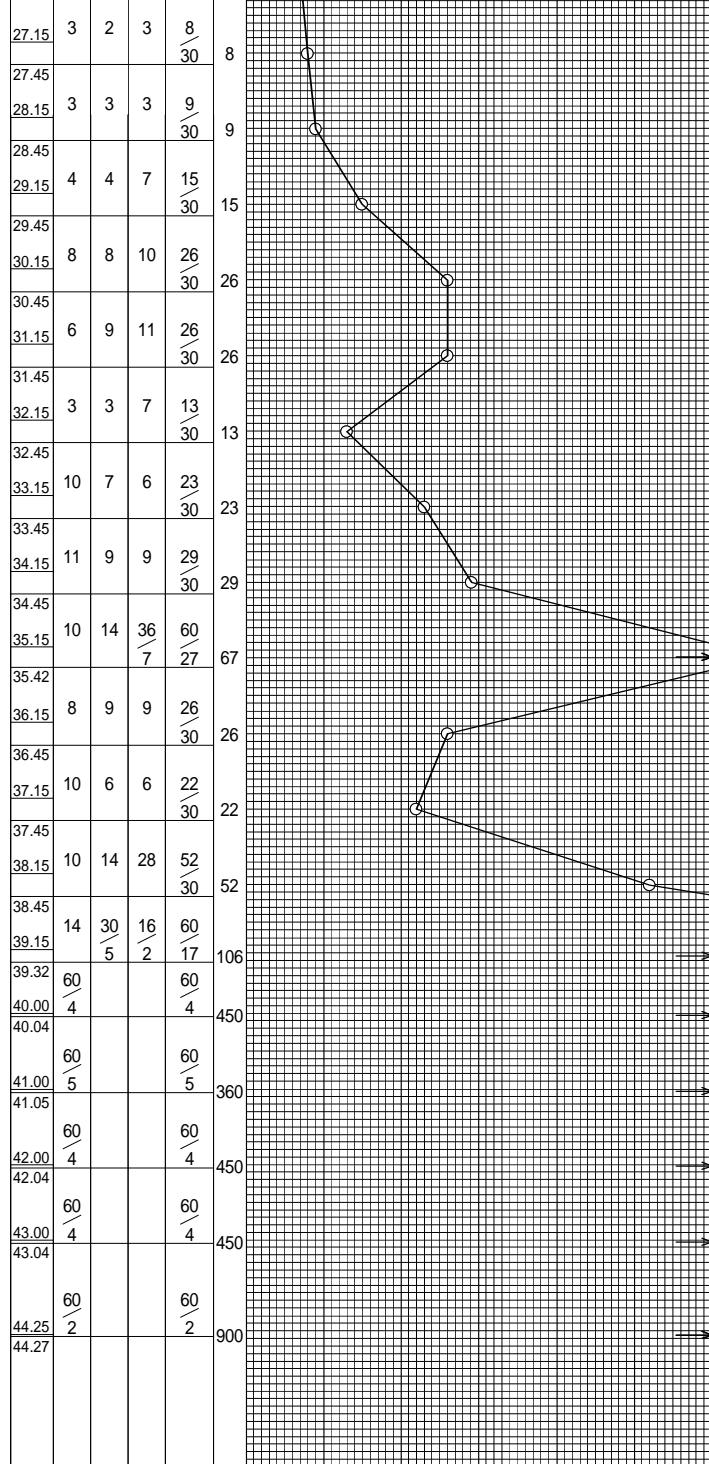
事業・工事名

シートNo 003

ボーリング名	B-No.3	調査位置	島田市 野田 地内			北 緯	34° 50' 42.7"							
発注機関	市立島田市民病院			調査期間	平成 28年 5月 17日 ~ 28年 5月 24日		東 経	138° 11' 5.0"						
調査業者名	日本エルダルト株式会社 電話 (054-254-4572)		主任技師	山西正朗		現代場代理人	深井隆信		コ 鑑 定 ア 者	深井隆信		ボーリング責任者	後藤 浩	
孔口標高	51.31m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	TOHO D-0-D		ハンマー落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	44.27m								エンジン	NFD-12		ポンプ	TOHO BG-3-C	



27				混りシルト	暗灰	中位 硬い	粘性中位~やや高位, 含水比中位。 深度25m, 27m付近、炭化有機物、腐植物を少量混入。 深度26m, 28m付近、微細砂~細砂を薄層に挟在。
28							
29	21.91	4.70	29.40				
30				シルト混り砂礫	暗灰	中位	径30mm以下の亜円~亜角礫, 角礫状の風化礫を主体に、径50mm前後の礫を混入。 マトリックスは、砂~シルト。
31	19.51	2.40	31.80				
32	18.96	0.55	32.35	シルト	暗灰	中位	粘性中位~やや高位, 含水比中位。 粗砂, 細礫を少量混入。
33							
34				玉石混り砂礫	暗灰	中位 非常に密な	径30mm以下の亜円~亜角礫, 角礫状の風化礫を主体に、径100mm前後の玉石混入。 深度35.4mに、コア長200mmの砂岩質玉石点在。 マトリックスは、砂~シルト。
35							
36							
37							
38							
39	12.06	6.90	39.25				
40				泥岩・砂質泥岩	暗灰		泥岩および砂質泥岩。 コアは、シングルコアチューブ掘削で、短柱~一部柱状となるが、亀裂により礫状となりやすい。 岩としては、軟岩~中硬岩に区分。
41							
42							
43							
44	7.04	5.02	44.27				
45							



27.15	3-27	-
27.45		
28.15	3-28	-
28.45		
29.15	3-29	-
29.45		
30.15	3-30	-
30.45		
31.15	3-31	-
31.45		
32.15	3-32	-
32.45		
33.15	3-33	-
33.45		
34.15	3-34	-
34.45		
35.15	3-35	-
35.42		
36.15	3-36	-
36.45		
37.15	3-37	-
37.45		
38.15	3-38	-
38.45		
39.15	3-39	-
39.32		
40.10	3-40	A
40.50		
41.00	3-41	-
41.05		
42.10	3-42	A
42.50		
43.10	3-43	A
43.50		
44.25	3-44	-
44.27		

5/20
5/21
5/23
5/24

ボーリング柱状図

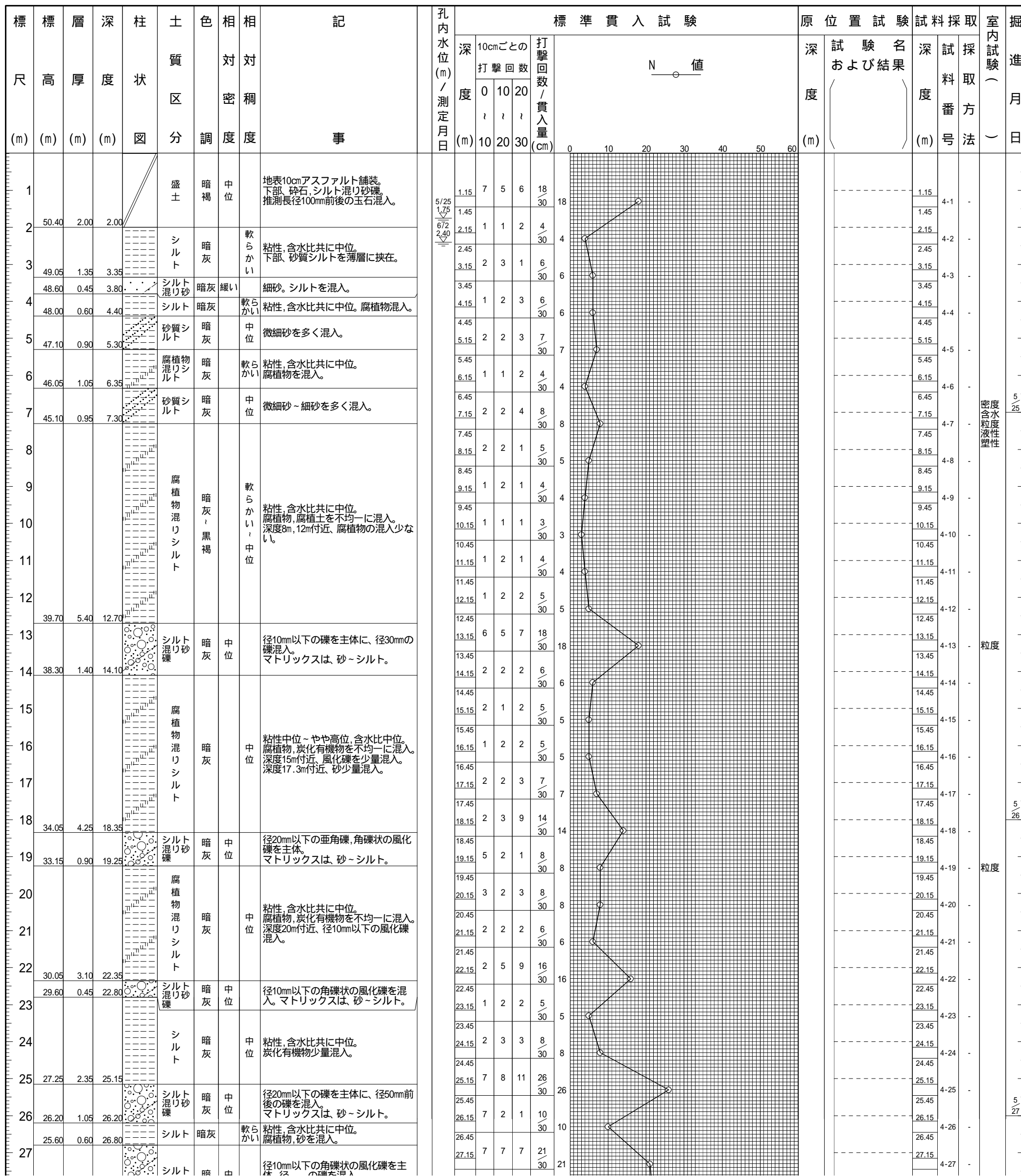
調査名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

ボーリングNo 5 2 3 8 2 1 1 4 0 0 4

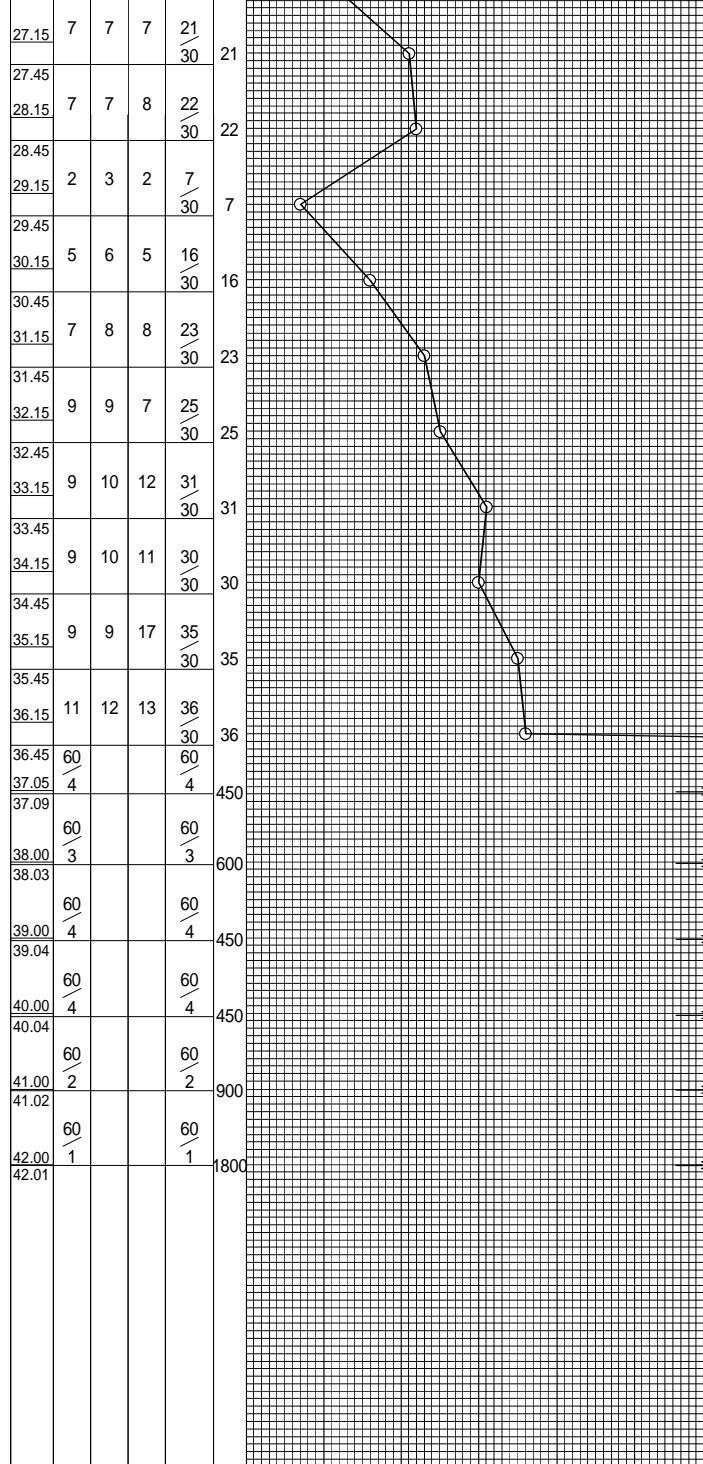
事業・工事名

シートNo 004

ボーリング名	B-No.4		調査位置	島田市 野田 地内			北緯	34° 50' 44.2"						
発注機関	市立島田市民病院			調査期間	平成 28年 5月 24日 ~ 28年 6月 3日			東経	138° 11' 1.7"					
調査業者名	日本エルダルト株式会社 電話 (054-254-4572)		主任技師	山西正朗		現代場人	深井隆信	コ鑑ア者	深井隆信	ボーリング責任者	鍋木智志			
孔口標高	52.40m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	KR-100P		ハンマー 落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	42.01m	度	0°	向	0°	エンジン	NFAD 10		ポンプ	V-6				



27	25.60	0.60	26.80	シルト混り砂礫	暗灰	中位	径10mm以下の角礫状の風化礫を主体。径30mmの礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。シルトを薄層に挟在。
28	23.70	1.90	28.70				
29				シルト	暗灰	中位	粘性中位~やや高位、含水比中位。上部、微細砂を混入。下部、細礫、粗砂混入。
30	22.20	1.50	30.20				
31				シルト質砂礫	暗灰	中位	径30mm以下の亜角礫、角礫状の風化礫を主体。マトリックスは、砂-シルト。シルトを多く混入。
32							
33	19.40	2.80	33.00				
34				シルト混り砂礫	暗灰	密な	径30mm以下の亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径80mm前後の礫を混入。マトリックスは、砂-シルト。
35							
36	15.80	3.60	36.60				
37				泥岩・砂質泥岩	暗灰		泥岩および砂質泥岩。コアは、シングルコアチューブ掘削で、短柱~一部柱状となる。岩としては、軟岩~中硬岩に区分。
38							
39							
40							
41							
42	10.39	5.41	42.01				
43							
44							
45							



27.15	4-27	-
27.45		
28.15	4-28	-
28.45		
29.15	4-29	-
29.45		
30.15	4-30	-
30.45		
31.15	4-31	-
31.45		
32.15	4-32	-
32.45		
33.15	4-33	-
33.45		
34.15	4-34	-
34.45		
35.15	4-35	-
35.45		
36.15	4-36	-
36.45		
37.10	4-37	A
37.50		
38.10	4-38	A
39.00		
39.10	4-39	A
40.00		
40.10	4-40	A
41.00		
41.50	4-41	A
42.00		

ボーリング柱状図

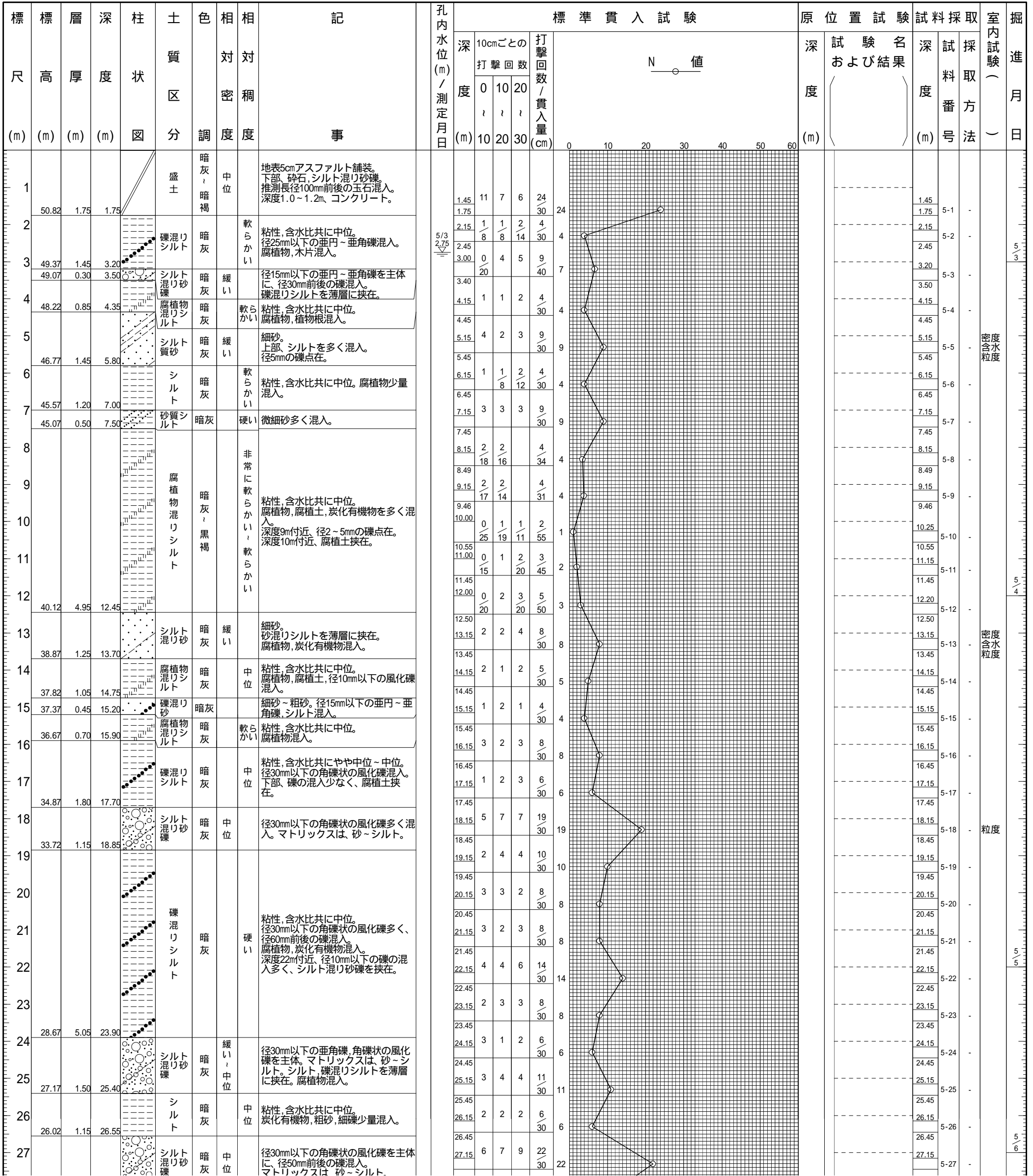
調査名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

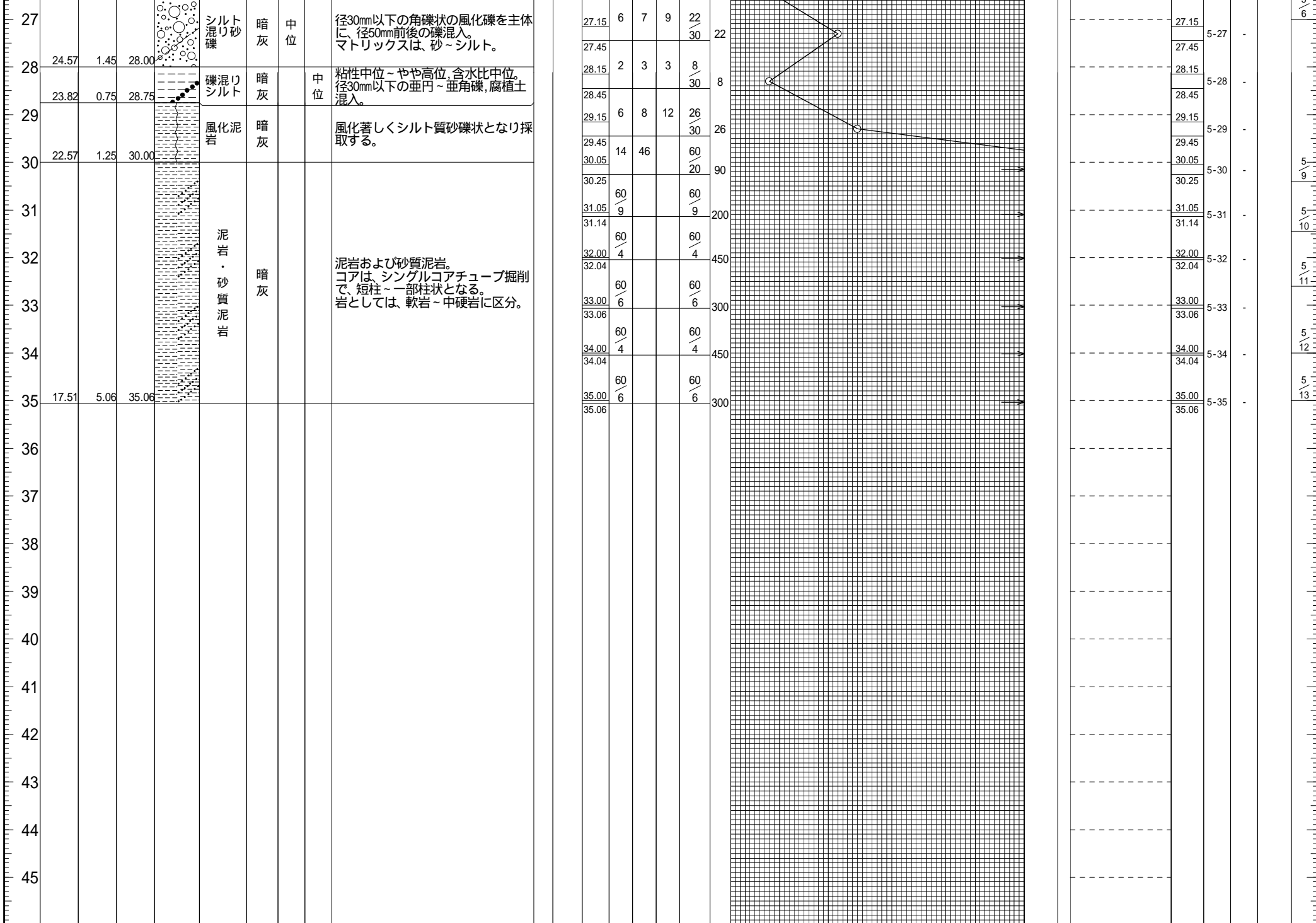
ボーリングNo 5 2 3 8 2 1 1 4 0 0 5

事業・工事名

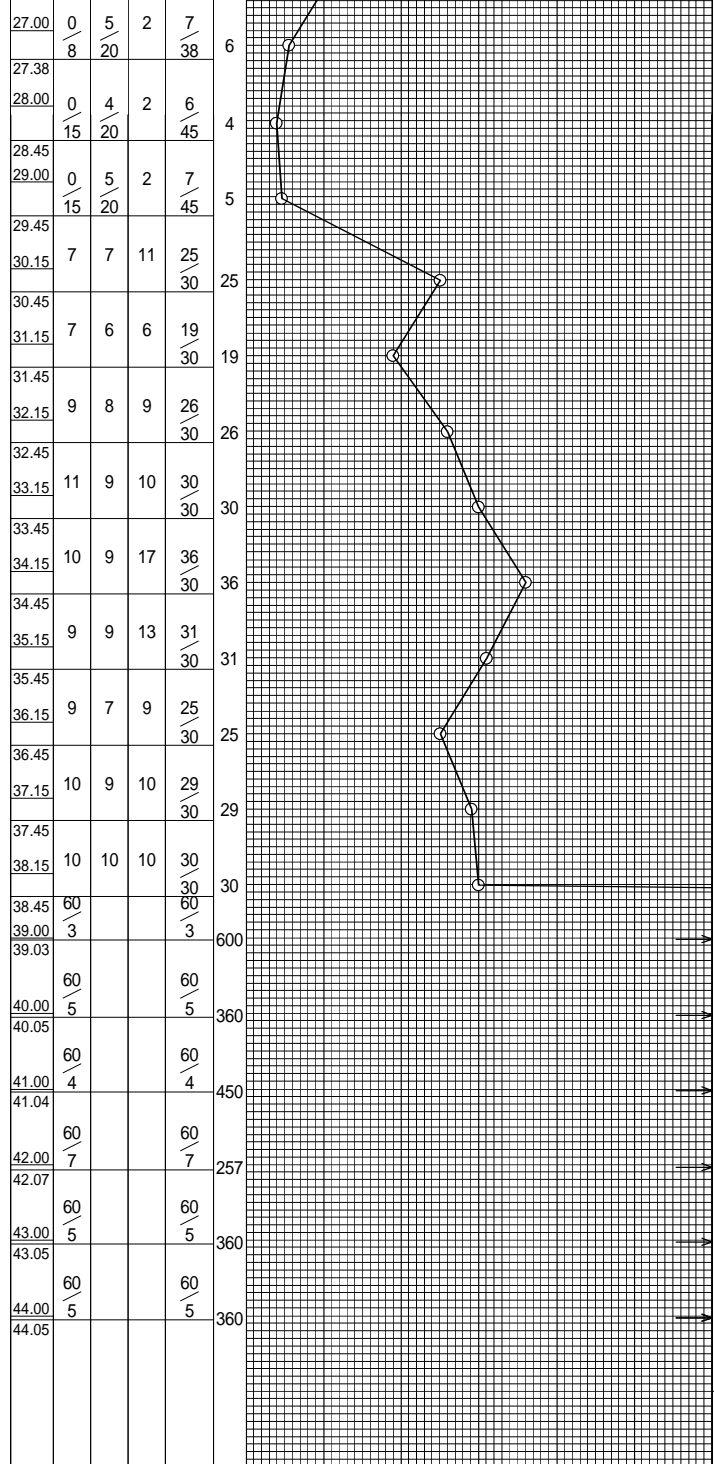
シートNo 005

ボーリング名	B-No.5		調査位置	島田市 野田 地内			北緯	34° 50' 44.4"						
発注機関	市立島田市民病院			調査期間	平成 28年 5月 2日 ~ 28年 5月 16日			東経	138° 11' 0.7"					
調査業者名	日本エルダルト株式会社 電話 (054-254-4572)		主任技師	山西正朗		現代場代理人	深井隆信		コ鑑定ア者	深井隆信		ボーリング責任者	鍋木智志	
孔口標高	52.57m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	KR-100P		ハンマー落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	35.06m	度	0°	向	180°	エンジン	NFAD 10		ポンプ	V-6				





27	24.48	2.90	26.80	シルト	暗灰	中位	粘性, 含水比共に中位。 炭化有機物を少量混入。 深度27.85 ~ 28.0m、砂礫挟在。
28							
29							
30	21.48	3.00	29.80	シルト混り砂礫	暗灰	中位、密な	径30mm以下の亜円～亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径100mm前後の玉石混入。 マトリックスは、砂～シルト。 全体にシルトの混入少ない。 所々で、掘削泥水の逸水がある。
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38	12.58	8.90	38.70	泥岩・砂質泥岩	暗灰		泥岩および砂質泥岩。 コアは、シングルコアチューブ掘削で、短柱～一部柱状となる。 柱状コアも角礫状に割れやすい。 岩としては、軟岩～中硬岩に区分。
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45	6.28	6.30	45.00				



27.00	6-27	-
27.38		
28.00	6-28	-
28.45		
29.00	6-29	-
29.45		
30.15	6-30	-
30.45		
31.15	6-31	-
31.45		
32.15	6-32	-
32.45		
33.15	6-33	-
33.45		
34.15	6-34	-
34.45		
35.15	6-35	-
35.45		
36.15	6-36	-
36.45		
37.15	6-37	-
37.45		
38.15	6-38	-
38.45		
39.00	6-39	-
39.03		
40.00	6-40	-
40.05		
41.00	6-41	-
41.04		
42.10	6-42	A
42.50		
43.00	6-43	-
43.05		
44.00	6-44	-
44.05		
45.00		

PS常時微動密度

ボーリング柱状図

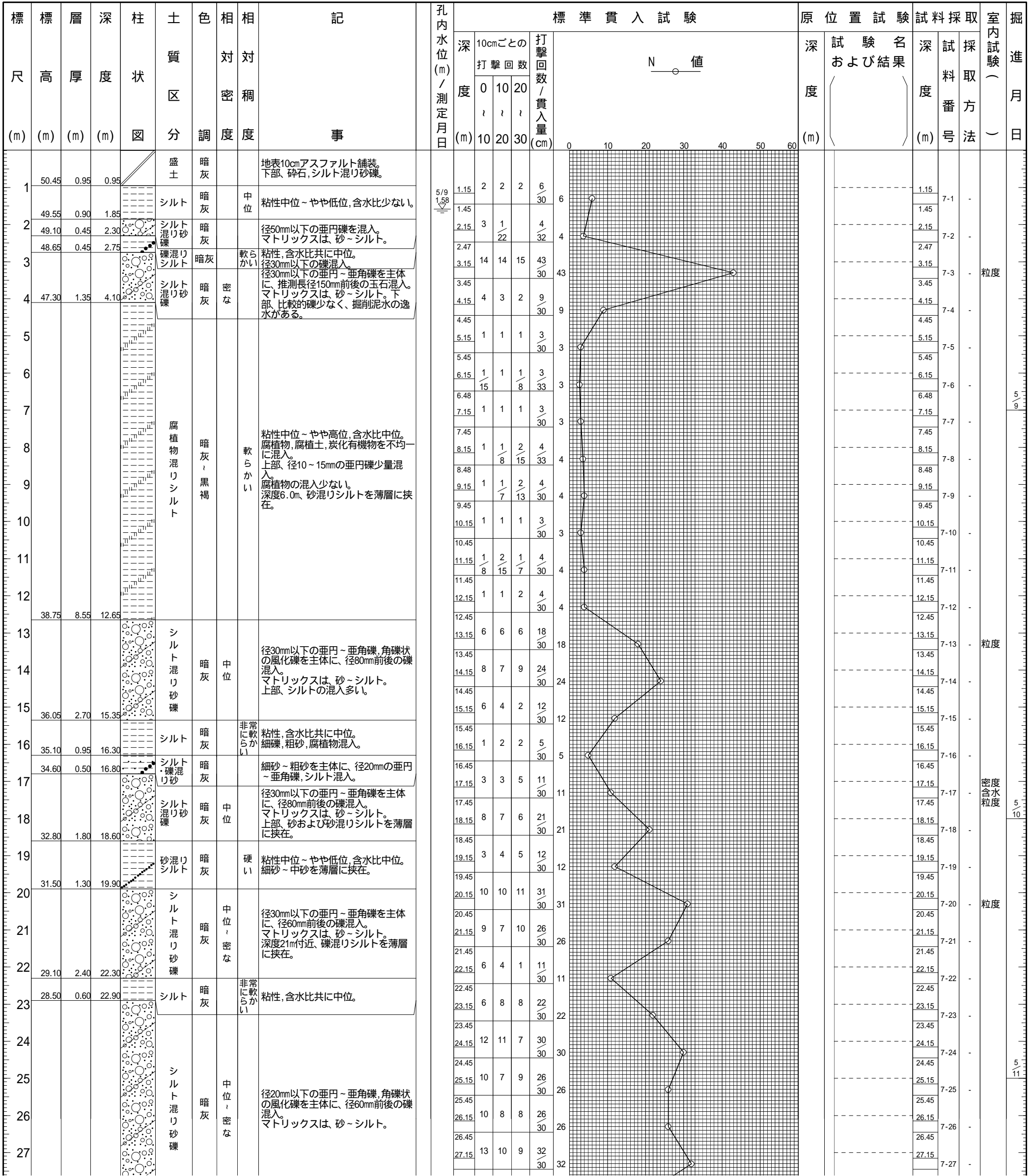
調査名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

ボーリングNo 5 2 3 8 2 1 1 4 0 0 7

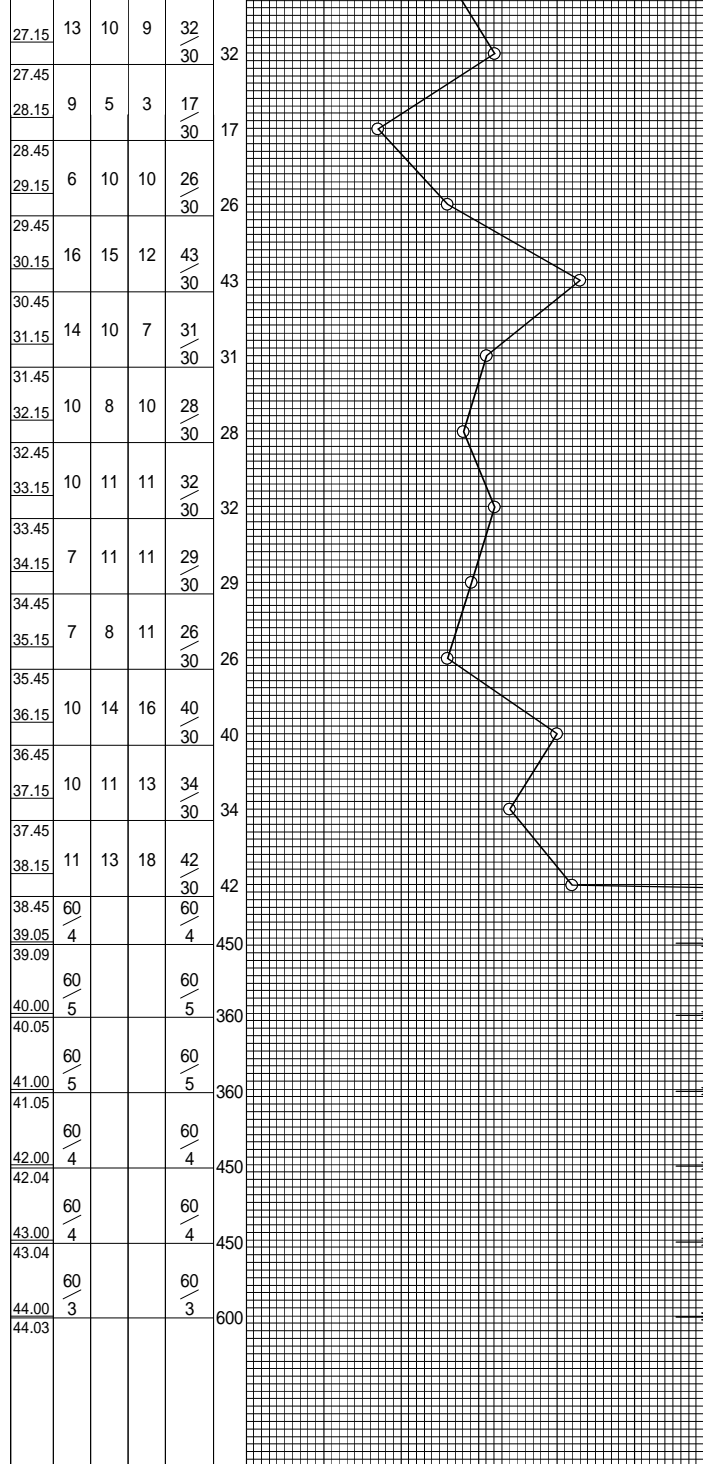
事業・工事名

シートNo 007

ボーリング名	B-No.7		調査位置	島田市 野田 地内			北緯	34° 50' 44.2"								
発注機関	市立島田市民病院			調査期間	平成 28年 5月 9日 ~ 28年 5月 16日			東経	138° 11' 5.4"							
調査業者名	日本エルダルト株式会社 電話 (054-254-4572)		主任技師	山西正朗		現代場代理人	深井隆信		コ鑑ア者	深井隆信		ボーリング責任者	後藤 浩			
孔口標高	51.40m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	TOHO D-0-D		ハンマー落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	44.03m	度	0°		向	180°		エンジン	NFD-12		ポンプ	TOHO BG-3-C				

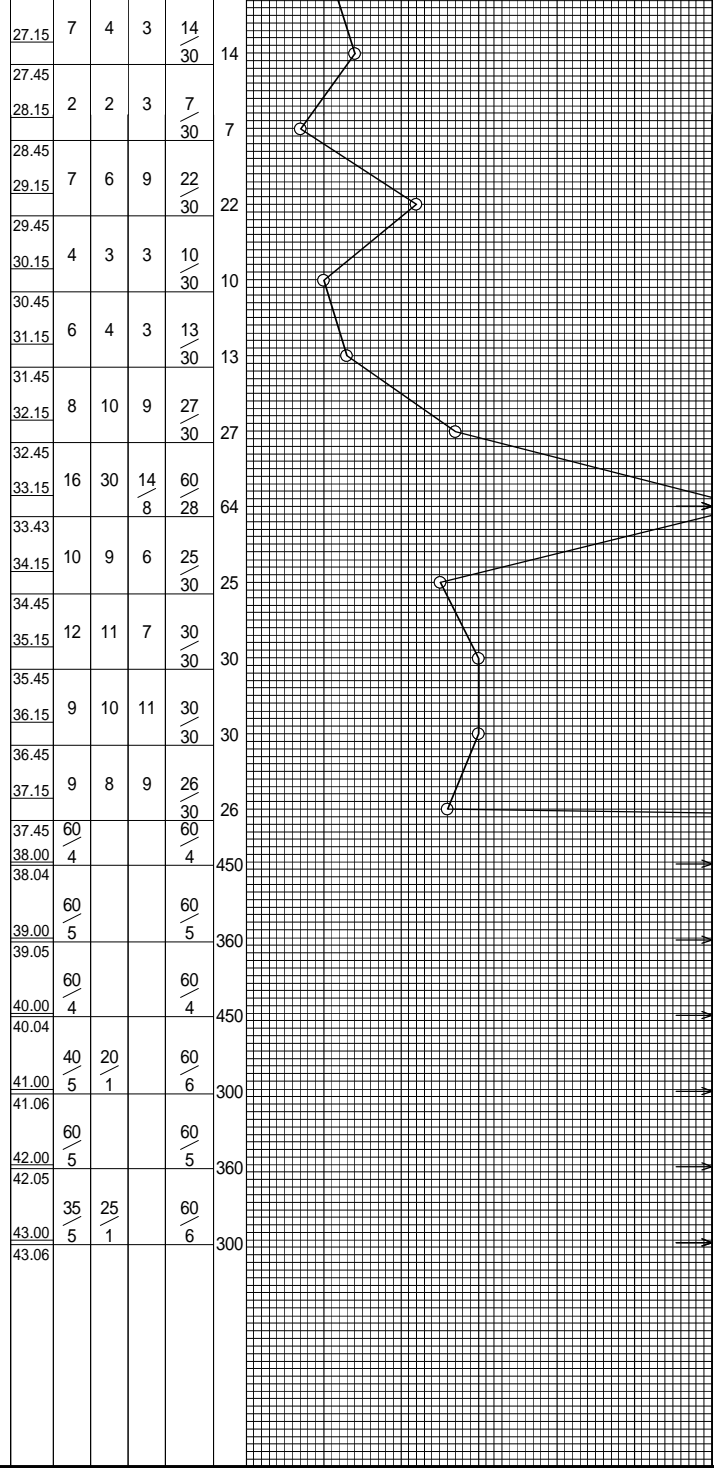


27				礫			
28	23.05	5.45	28.35				
29	22.40	0.65	29.00	シルト	暗灰		粘性、含水比共に中位。 腐植物、細礫混入。
30				シルト混り砂礫	暗灰 褐色	中位 密な	径20mm以下の亜円～亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、径60mm前後の礫を混入。 マトリックスは、砂～シルト。 深度35m付近、径10mm以下の礫の混入多い。
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44	7.37	5.13	44.03	泥岩・砂質泥岩	暗灰		泥岩および砂質泥岩。 コアは、シングルコアチューブ掘削で、短柱～一部柱状となる。 岩としては、軟岩～中硬岩に区分。
45							



27.15	7-27	-
27.45		
28.15	7-28	-
28.45		
29.15	7-29	-
29.45		
30.15	7-30	-
30.45		
31.15	7-31	-
31.45		
32.15	7-32	-
32.45		
33.15	7-33	-
33.45		
34.15	7-34	-
34.45		
35.15	7-35	-
35.45		
36.15	7-36	-
36.45		
37.15	7-37	-
37.45		
38.15	7-38	-
38.45		
39.05	7-39	-
39.09		
40.00	7-40	-
40.05		
41.00	7-41	-
41.05		
42.00	7-42	-
42.04		
43.00	7-43	-
43.04		
43.50	7-44	A
44.00		

27	23.98	0.95	27.30	シルト混り砂礫	暗灰	中位	径20mm以下の亜角礫を主体に、径60mm前後の礫混入。マトリックスは、砂-シルト。
28	22.73	1.25	28.55	礫混りシルト	暗灰	中位	粘性、含水比共に中位。径20mm以下の礫、細砂を混入。
29				シルト混り砂礫	暗灰	中位、密な	径30mm以下の亜円-亜角礫、角礫状の風化礫を主体に、推測長径150~200mmの玉石混入。深度31.5~35.0m間、径80mm前後の礫の混入が多い。マトリックスは、砂-シルト。部分的に、シルトの混入が多い。深度35.6~35.95mに、シルトを挟在。深度32m以深、所々で掘削泥水の逸水がある。
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
38	13.33	9.40	37.95	泥岩・砂質泥岩	暗灰		泥岩および砂質泥岩。コアは、シングルコアチューブ掘削で短柱~一部柱状となる。岩としては、軟岩~中硬岩に区分。
43	8.22	5.11	43.06				
44							
45							



27.15	8-27	-
27.45		
28.15	8-28	-
28.45		
29.15	8-29	-
29.45		
30.15	8-30	-
30.45		
31.15	8-31	-
31.45		
32.15	8-32	-
32.45		
33.15	8-33	-
33.43		
34.15	8-34	-
34.45		
35.15	8-35	-
35.45		
36.15	8-36	-
36.45		
37.15	8-37	-
37.45		
38.00	8-38	-
38.04		
38.04		
39.00		
39.05	8-39	A
39.05		
39.50		
40.10	8-40	A
40.04		
40.50		
41.00	8-41	-
41.06		
41.06		
42.10	8-42	A
42.05		
42.50		
43.00	8-43	-
43.06		

5
28

5
30

5
31

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深さ)		B-No. 1 (18.00~18.50m)	B-No. 1 (20.00~20.50m)			
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.670			
	自然含水比 w_n %		19.4			
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	50.2	25.3			
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	36.8	48.2			
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	13.0	14.5			
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %			12.0		
	最大粒径 mm	19	19			
	均等係数 U_c	-	427			
	D_{20} mm	0.236	0.0233			
コンシステンシ ー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分類	地盤材料の 分類名	細粒分まじり 砂質礫	細粒分質礫質砂			
	分類記号	(GS-F)	(SFG)			
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ°				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ'°						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深さ)		B-No. 2 (6.00-6.50m)	B-No. 2 (13.00-13.50m)			
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.728				
	自然含水比 w_n %	28.6				
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	60.5			
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	30.0	29.6			
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	56.8	9.9			
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	13.2				
	最大粒径 mm	2	19			
	均等係数 U_c	26.1	88.9			
	D_{20} mm	0.0141	0.378			
コンシステンシ ー特性	液性限界 w_L %	27.4				
	塑性限界 w_p %	20.8				
	塑性指数 I_p	6.6				
分類	地盤材料の 分類名	砂質粘土	細粒分まじり 砂質礫			
	分類記号	(CLS)	(GS-F)			
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ°				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ'°						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深 さ)		B-No. 3 (3.00-3.50m)	B-No. 3 (6.50-7.30m)	B-No. 3 (8.50-9.30m)	B-No. 3 (10.50-11.25m)	B-No. 3 (14.00-14.50m)	B-No. 3 (20.00-20.50m)
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³		1.887	1.410	1.629		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³		1.475	0.721	1.039		
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.715	2.469	2.613		
	自然含水比 w_n %		26.9	97.1	58.1		
	間隙比 e		0.841	2.424	1.524		
	飽和度 S_r %		90.2	97.4	98.0		
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	63.8	0.1	0.0	0.0	49.2	36.8
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	26.7	73.9	3.0	0.5	33.5	40.7
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	} 9.5	} 18.6	} 35.2	} 33.4	} 17.3	} 22.5
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %						
	最大粒径 mm	19	4.75	2	0.85	19	19
	均等係数 U_c	71.6	16.7	-	-	-	-
	D_{20} mm	0.530	0.0405	-	-	0.144	-
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %		NP	143.6	83.3		
	塑性限界 w_p %		NP	58.9	31.1		
	塑性指数 I_p		-	84.7	52.2		
分類	地盤材料の分類名	細粒分まじり砂質礫	細粒分質砂	シルト	粘土	細粒分質砂質礫	細粒分質礫質砂
	分類記号	(GS-F)	(SF)	(MH)	(CH)	(GFS)	(SFG)
圧密	試験方法			段階載荷	段階載荷		
	圧縮指数 C_c			2.61	0.75		
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²			216.7	197.2		
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²			190.9 198.1	124.0 123.6		
	破壊ひずみ ϵ_f			5.58 6.39	5.70 5.09		
	E_{50} MN/m ²			5.56 5.20	6.14 6.66		
せん断	試験条件		CD(三軸)	UU(三軸)	UU(三軸)		
	全応力	c kN/m ²		75.3	59.6		
		ϕ°			0.0	0.0	
	有効応力	c' kN/m ²		8.7			
ϕ'°			39.6				
	変形係数 MN/m ² ①			7.67	9.73		
	変形係数 MN/m ² ②			10.97	6.52		
	変形係数 MN/m ² ③			9.00	9.38		
	変形係数 MN/m ² ④			8.32	8.36		

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深 さ)		B-No. 4 (7.00~7.30m)	B-No. 4 (13.00~13.50m)	B-No. 4 (19.00~19.25m)		
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.718				
	自然含水比 w_n %	29.4				
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.2	49.7	45.7		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	28.9	36.9	26.1		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	52.8	13.4	28.2		
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	18.1				
	最大粒径 mm	4.75	19	19		
	均等係数 U_c	-	-	-		
	D_{20} mm	0.00599	0.230	-		
コンシステンシ ー特性	液性限界 w_L %	29.5				
	塑性限界 w_p %	10.4				
	塑性指数 I_p	19.1				
分類	地盤材料の 分類名	砂質粘土	細粒分まじり 砂質礫	細粒分質砂質礫		
	分類記号	(CLS)	(GS-F)	(GFS)		
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ°				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ'°						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深 さ)		B-No. 5 (5.00-5.50m)	B-No. 5 (13.00-13.50m)	B-No. 5 (18.00-18.50m)		
一 般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.713	2.661			
	自然含水比 w_n %	25.6	29.6			
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒 度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.2	3.8	45.7		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	65.0	65.8	37.4		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	21.1	21.2	} 16.9		
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	13.7	9.2			
	最大粒径 mm	4.75	19	26.5		
	均等係数 U_c	80.9	41.6	-		
	D_{20} mm	0.0111	0.0342	0.135		
コン シ ス テ ン シ 特 性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分 類	地盤材料の 分類名	細粒分質砂	細粒分質砂	細粒分質砂質礫		
	分類記号	(SF)	(SF)	(GFS)		
圧 密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一 軸 圧 縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん 断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ°				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ'°						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深 さ)		B-No. 6 (19.00~19.50m)				
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³					
	自然含水比 w_n %					
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒 度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	58.4				
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	31.1				
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	} 10.5				
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %					
	最大粒径 mm	19				
	均等係数 U_c	-				
D_{20} mm	0.377					
コン シ ス テ ン シ 特 性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分 類	地盤材料の 分類名	細粒分まじり 砂質礫				
	分類記号	(GS-F)				
圧 密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一 軸 圧 縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん 断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ°				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ'°						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料
に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深さ)		B-No. 7 (3.00-3.50m)	B-No. 7 (13.00-13.50m)	B-No. 7 (17.00-17.50m)	B-No. 7 (20.00-20.50m)		
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³						
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³						
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			2.668			
	自然含水比 w_n %			19.4			
	間隙比 e						
	飽和度 S_r %						
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	70.4	44.0	26.2	56.1		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	21.0	30.8	47.2	33.6		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	8.6	25.2	19.2	10.3		
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %					7.4	
	最大粒径 mm	37.5	19	19	19		
	均等係数 U_c	62.8	-	76.2	-		
	D_{20} mm	0.710	-	0.0285	0.405		
コンシステンシ ー特性	液性限界 w_L %						
	塑性限界 w_p %						
	塑性指数 I_p						
分類	地盤材料の 分類名	細粒分まじり 砂質礫	細粒分質砂質礫	細粒分質礫質砂	細粒分まじり 砂質礫		
	分類記号	(GS-F)	(GFS)	(SFG)	(GS-F)		
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
せん断	試験条件						
	全応力	c kN/m ²					
		ϕ°					
	有効応力	c' kN/m ²					
ϕ'°							

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成28年度 新病院建設事業地質調査業務委託

整理年月日 2016-06-21

整理担当者 深井 隆信

試料番号 (深 さ)		B-No. 8 (8.50-9.27m)	B-No. 8 (11.50-12.25m)	B-No. 8 (13.50-14.26m)	B-No. 8 (18.00-18.50m)			
一 般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	1.295	1.738	1.674				
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	0.567	1.224	1.127				
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.317	2.631	2.591				
	自然含水比 w_n %	128.8	42.6	49.8				
	間隙比 e	3.137	1.154	1.308				
	飽和度 S_r %	96.4	96.2	96.8				
粒 度	石分 (75mm以上) %							
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	0.0	0.0	31.4			
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	11.3	0.7	0.6	47.3			
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	44.4	54.1	40.7	} 21.3			
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	44.3	45.2	58.7				
	最大粒径 mm	2	0.425	0.425	19			
	均等係数 U_c	-	-	-	-			
D_{20} mm	-	-	-	-				
コン シ ス テ ン シ ー 特 性	液性限界 w_L %	181.6	51.0	68.6				
	塑性限界 w_p %	59.8	23.3	28.7				
	塑性指数 I_p	121.8	27.7	39.9				
分 類	地盤材料の 分類名	砂まじり粘土	粘土	粘土	細粒分質礫質砂			
	分類記号	(CH-S)	(CH)	(CH)	(SFG)			
圧 密	試験方法	段階載荷	段階載荷	段階載荷				
	圧縮指数 C_c	1.52	0.75	0.89				
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²	102.4	160.9	215.4				
一 軸 圧 縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²	130.3	122.7	81.3	82.0	108.6	112.3	
	破壊ひずみ ϵ_f	10.53	9.21	5.35	5.93	4.27	5.20	
	E_{50} MN/m ²	2.98	2.54	4.06	4.58	4.44	3.93	
せん 断	試験条件	UU(三軸)		UU(三軸)		UU(三軸)		
	全応力	c kN/m ²	53.4		37.3		43.2	
		ϕ°	0.0		3.9		2.1	
	有効応力	c' kN/m ²						
ϕ'°								
	変形係数 MN/m ² ①	2.99	9.73	5.22				
	変形係数 MN/m ² ②	3.87	8.21	7.49				
	変形係数 MN/m ² ③	4.09	9.41	7.13				
	変形係数 MN/m ² ④	2.94	6.85	7.52				

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]